



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：馬場 貴博 / 副会長：宮崎 正典 / 幹事：片桐 康利



2023～2024 年度クラブスローガン

はがにいっしょう

「破顔一笑」

みんなで語り合えるクラブになるために

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：山口 裕之、川上 仁哉、西村 浩輝、古川 直記、四元 清安、田中 啓輔、倉科 聡一郎、藤井 寿人

本日の出席率85.41：会員数54名・出席32名・欠席7名・出席規定免除会員9名・ビジター0名
前々回の修正出席率86%：出席32名・メイクアップ0名・出席規定免除会員11名



会長挨拶 / 馬場 貴博君



皆さん今晩は。私の会長挨拶も今日も含め残り3回となりました。

今日は例会後に新入会員の春本君と山川君の歓迎会がありますのでそれを楽しみにしておいてください。前回の会長挨拶の時に原稿を見ないとお話ししたと思

いますが、前回は挨拶が長いと片桐幹事からお叱りを受けました。ですが今回も原稿は見ずにお話ししたいと思います。古い話ですが私がサラリーマンになって真っ先に転職したのが

マレーシアのクアラルンプールでした。昭和59年6月26日に赴任しました約3年を過ごしましたが2年間はジャングルでのキャンプ同様の生活でした。日本のODAで新しいダム計画プロジェクトで東マレーシアのバタンアイという場所でした。陸路では空港から120kmの距離でしたが車をチャーターして約1日途中の道は凸凹の舗装はされておらず車をはねて途中何度も頭を天井に打たれるよう道中でした。でもそれだけでは終わらず次の朝はボートで現場移動。これは8時間かかりました。その移動時に体長は2m以上で大人の太腿くらいのニシキヘビが優雅に泳ぐ光景を目の当たりにしたりオラウータンをまじかに見たりし自分はとんでもないところに来たんだと改めて思いました。水も電気もガスもない生活を2年近く経験してこの生活は一生忘れないだろうと思います。なんでこんな話をしたかと言いますと初めて日本を出た日6月26日。この日が偶然にも家内の誕生日だったということです。つたないというか、くだらない話ですが6月26日が私達夫婦をつなげた日でした。



幹事報告 / 片桐 康利君

1. 来信

■佐世保東RC

・第2回佐世保市内8RC会長幹事会 議事録



ニコニコボックス

馬場 貴博会長・宮崎 正典副会長・片桐 康利幹事

本日の例会プログラムは、第11回クラブ協議会・各委員会による年間活動報告となります。今年度どの委員会も、年間の活動計画に基づいた素晴らしい活動をして頂きました。時には無理をさせるようなお願いもしたかもしれませんが。改めて各委員長の皆様、そして支えてくださったメンバーの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。最後までどうぞよろしくお願い致します。

田雑 豪裕君

佐世保市より優秀施工業者表彰をいただきましたのでニコニコします。

田添 直記君

おかげさまでニコニコ100万円越しました。ありがとうございます。

本日の合計	3,000円
本年度の累計	1,168,500円



本日の卓話

◆ 第10回クラブ協議会 ◆

SAA委員長 溝上 純一郎 君

本年度SAA委員会では、馬場会長発案のもとに交流促進のため、毎月第2木曜の例会を抽選で席を決定し会員の交流を図る事にしました。

それに伴いSAAメンバーの例会時の歴も私語を防ぐ為各人、分かれて着席する様になりました。

今年度1月初めの例会より私の病の為、長期の欠席をして馬場会長を始めSAAの皆様にご多大なご心配とご迷惑をおかけした事を、心よりお詫び申し上げます。一年間しっかりとSAAの役割を担っていただきました委員会メンバーとご協力を頂きましたメンバーの皆様に感謝申し上げます。



クラブ管理運営委員会 岡 光正 委員長

本年度、「戦略計画委員会」「親睦例会活動委員会」「式典例会・出席委員会」の三委員会を担当致しました。戦略計画委員会では、今後のクラブ運営に関わる重要な案件があり、会費の値上げ並びに細則変更に、香月委員長を中心に委員会を重ね、全会員に理解して頂き臨時総会にて賛同を得る事ができました。また、親睦例会活動委員会、式典例会・出席委員会では、数年振りにコロナ過以前のスケジュールに戻り、休会する事なく計画していた全ての事業を遂行し、会員相互とご家族の親睦を深めました。ニコニコBOXでは、皆様方のご協力により目標額を大幅に達成致しました。最後になりますが、各委員会が委員長を中心に企画立案し、素晴らしい委員会活動と事業ができたことに感謝申し上げます。



戦略計画委員会 香月 章彦 委員長

委員会内にて中長期的な視点での当クラブ目指すべき将来像（周年事業のあり方も含む）を協議する件。

基本的に、当クラブ以外のゲストを多く招いて行うような周年事業は、10年刻みで行う方向で調整。基本的には5年刻みの行事は、クラブ内の関係者のみで行う。

他クラブと当クラブの運営方法を比較検討する機会を設け、当クラブが取り入れるべき運営手法（ローターアクト、インターアクト、衛星クラブ、RLI等）があれば、それを協議する。他クラブの定款及び細則を入手し研究した。



他のクラブとの交流の方法、時期、有り様について検討協議する。

この点は、特に進展させることはできなかった。クラブの規程等について、標準規程等と比較して検討協議する。

慶弔規程の見直し、催促の改定を行い、特に幹事が「何時」「何をやるべきか」を明示することができた。

他のクラブとの交流の方法、時期、有り様について検討協議する。

クラブの規程等について、標準規程等と比較して検討協議する。

これらの協議の結果を、時機をみて会員に示し、全会員で議論して頂く。

ロータリー情報について、成り立ち、目的、活動の基本となるべき情報を積極的に提供していく

親睦例会活動委員会 田添 直記 委員長

本年度の親睦例会活動委員会は、馬場貴博会長が掲げる「破顔一笑」「みんなで語り合えるクラブになるために。」のテーマのもと、会員家族等の親睦を目的として各委員会と協力連携を図りながら、会員や会員家族のより親密な関係性の構築を目指して「納涼例会」「忘年例会」「延寿会」の運営を行いました。全ての事業において、数年ぶりにコロナ以前のスケジュールで例年通りに行い、昨年までのように気を使いながらの交流ではなく、より自然な形での交流が出来たのではないかと思います。また、例会についても年間を通じて通常通りに開催をすることが出来ました。以上のことから、会員がより一層相互理解を深め、会員家族に対しては当クラブの良さを伝えられるような取り組みが出来たのではないかと思います。今後もこの活動を継続していくことの大切さと、会員の皆様の協力の有難さを感じる一年間でした。感謝申し上げます。



式典例会・出席委員会 田端 真人 委員長

委員会の事業といたしまして、「新旧会長副会長幹事交代式」、「創立記念式典例会」、「新年例会」の企画、運営、準備を行ってまいりました。今年度はコロナの影響も少なくなり、対面による交流の大切さを感じていただける事を念頭に事業を行いました。特に創立記念式典例会では釜山連山RCの皆様にご会場にお越しいただき、当クラブとの様々な思い出や想いなどをお話しいただき、対面による交流を体現できたものと思います。事業以外では、出席報告におきましては委員会メンバーのご協力によりメンバー全員で行う事が出来たと思います。しかしながら出席の



向上の為のメイクアップの推進を出来なかったことは反省しています。中央クラブメンバーの皆様のご協力により一年間、無事に委員会活動を行う事が出来たことに感謝いたします。

公共イメージ・会報委員会 山口 裕之 委員長

一年間を通じて、例会、訪問者、卓話者及び卓話風景を委員会メンバーと共に写真撮影及びビデオ撮影を行ってきました。例会中の会長あいさつ、幹事報告、各委員会報告などは例会が終わるまでに文章として提出してもらるか、メールにて事務局に送信してもらい、卓話者には後日、文章にて頂くよう努めました。クラブ週報の編集は、事務局員に編集してもらったものを、校正して発行しました。会員、委員会メンバーの協力もあり比較的早い週報の発行が出来たと思います。また、本年度は例会をお休みされた方のために、会長挨拶をすぐにホームページへアップしました。ホームページの刷新については、予算等の都合もあり、次年度以降の課題となりました。



会員増強委員会 松尾 啓一 副委員長

今年度会員増強委員会は、最初の委員会活動として新たに入会パンフレット作成から始め、会員全員の情報をもとに慎重かつ積極的に勧誘を行った結果4名の新入会員をお迎えすることが出来ました。目標である60名体制には届きませんでしたが、10名を超える方と面談を行い、候補者リストの精査・更新もしっかりと出来ましたので、次年度に対しても良い形で引継ぎが出来るかと考えております。また、細則第9条会員増強委員会の任務に則り、新入会員オリエンテーションを2回開催しました、今回は新たな試みとして委員会メンバーが勉強をして講師となることで、新入会員の研修はもちろんですが、既存会員のロータリアンとしての資質の向上も図れたのではないかと思います。結びになりますが、7回の委員会・2回の新入会員オリエンテーション・5回の候補者面談・佐世保ロータリークラブへのメイクアップと、1年間内容の充実した委員会活動をすることが出来ました。役員・理事の皆様のご協力のおかげであり、何よりもお付き合い頂いた委員会メンバーの皆様にご感謝致します。今後益々の中央ロータリークラブの発展と、次年度60名体制を祈念し報告とさせていただきます。



職業奉仕委員会 馬渡 圭一 委員長

本年度、当委員会の事業として、「社員特別例会」、「職場訪問例会」の企画運営を行いました。令和5年11月9日の社員特別例会では、シネマボックス太陽様にて「沈黙の艦隊」を鑑賞し、令和6年3月14日の職場訪問例会では、佐世保魚市場での見学等を実施しました。その他、令和5年9月14日のクラブ協議会において、「職業奉仕とは何か」という題名で、会員の皆様と職業奉仕に関する協議をさせていただきました。何れの事業についても、委員をはじめ会員の皆様のご協力をおもちまして滞りなく終わることができたと思います。なお、本年度、当委員会は、会員の皆様の職業アピールを中心とした情報誌の作成を検討することにしていましたが、これについては、文字通り検討に留まっており、その先については次年度以降に引き継ぎたいと思います。



社会奉仕委員会 吉野 英樹 副委員長

本年は、ロータリー奉仕デーに合わせて開催する環境保全事業として、9月10日に開催された佐世保シーサイドフェスティバルの会場で清掃活動を行いました。残暑厳しい中、26名のメンバーに参加いただき取り組むことができました。また、地区補助金を活用して12月10日に市民交流会を島瀬公園で開催し、スペシャルオリンピックス長崎様、佐世保特別支援学校や佐世保北中高校吹奏楽部の先生、生徒の皆様、そして社会福祉法人宮共生会様にご協力をいただき、市民の皆様にご協力をお願いする事業を広く周知する機会となり、また当クラブが取り組んでいる社会奉仕活動についても広報できたと思っております。コロナが5類となって初めての両事業でありましたが、新たな内容で取り組むことがあまりできなかったことが反省点として残りました。今後もより多くの方々を巻き込みながら様々なアイデアで我々の社会奉仕活動が広がっていけば、より素晴らしいものになっていくと思います。最後に委員会メンバーをはじめ会員の皆様、そして関わっていただいた多くの方のご協力に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



青少年奉仕委員会 山瀧 正久 委員長

1、メイン事業である旭川空港ロータリークラブとの青少年交流事業については、令和6年1月26日から28日まで2泊3日の日程で北海道旭



川を訪問し交流を実施しました。会員18名、小学生8名の参加でありました。26日は、冬の動物生態見学で旭山動物園を見学する。夕方から旭川ロータリークラブとの合同例会を開催する。例会後は、子供たちの交流で夫々が参加した思いを発表し、ミニゲームで楽しい時間を過ごしました。28日の帰るまで、積雪が多かった3日間最高の天気恵まれ、子供たちは雪との触れ合いを存分に楽しんでいました。

※次年度は10月19日から21日まで旭川ロータリークラブ側から子供たちが来訪の予定です。相互交流に道が開けたと思っております。

2、市民交流活動については、ロータリーデーとして12月10日に社会奉仕委員会と合同で島瀬公園を会場として開催しました。多くのイベントの中でスペシャルオリンピックスの担当を行いました。一年間の活動を通じて役員・理事の皆様をはじめ、奉仕プロジェクト委員会、当委員会メンバーの皆様のお知恵とご協力により一年間、無事に活動を行うことが出来ましたことに感謝を申し上げます。

国際奉仕・R財団委員会 岩政 孝 委員長

国際奉仕・ロータリー財団委員会は国際交流委員会とロータリー財団・米山奨学委員会の担当委員会として委員会活動並びに事業を行いました。



国際交流委員会では、久しぶりに韓国蓮山RCを佐世保に迎え、創立記念式典の参加と共に今後の交流予定などを協議いたしました。

ロータリー財団・米山奨学委員会ではロータリー財団に関する会員への広報、ロータリー財団・米山奨学会への寄付という当初の計画を実施する事が出来ました。ロータリー財団に対しての理解を深めて頂く機会を作れたのではないかと思います。

国際交流委員会 藤井 寿人 委員長

当委員会の事業といたしましては、姉妹クラブである韓国の釜山蓮山ロータリークラブが来日され、本クラブとの交流事業を行いました。



まず、非公式ではありますが、事前に釜山蓮山ロータリークラブの会長と釜山にてお会いし、来日における意向をお聞きしたことで、当日円滑な運営と交流ができたと感じております。

今までの連絡等は、メールでしたが、今回、SNSやアプリを新たに活用し、タイムロスで円滑にやり取りができました。今後は時代に沿った連絡方法が必要だと思っております。

事業当日は会員の皆様に率先して交流していただきました。先方からは今後とも姉妹クラブとして継

続していきたいとの意向があり、今まで通り交流は必要であると改めて感じております。

役員・理事の皆様をはじめ、クラブ会員の皆様そして何より委員会メンバー・執行部の皆様のご協力により、無事に一年間委員会活動を行うことが出来ました。感謝申し上げます。

R財団・米山委員会 橋口 佳周 委員長

1. ロータリー財団・米山記念奨学会に関する会員への広報活動

2. ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付



本年度は、以上の活動計画を立て事業を行った。

1. ロータリー財団・米山記念奨学会に関する会員への広報活動については、10月26日米山奨学生スリランカ出身のワンニナーヤカ・ムディヤンセーラーゲー、ワサンタシリプスパクマール君に卓話をお願いし、スリランカの国の状況等の話を聞かせて頂きました。

又、11月2日ロータリー財団月間には、片桐康利幹事にロータリー財団についての卓話をお願いしロータリー財団についての理解を深めさせて頂きました。

2. ロータリー財団・米山記念奨学会への寄付については、PHFに2名、米山記念奨学会への寄付をして3名の方に米山功労者になって頂きました。会員の皆様方のご協力に心より感謝いたします

SAA：井手陽一君

次回例会6月20日12：30～

